

# Green Brave

## #52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT



### Round.4

### FUJI GT 450km RACE

2023年8月5日(土)～6日(日) 富士スピードウェイ(静岡県小山町)

## 予選 21 位から 12 台抜きを見せ殊勲の 9 位入賞

土曜日(予選日)の天候は晴。公式練習は9時から行われ、最初に吉田選手がコースイン。車体とタイヤのフィーリングを確認しながら走行します。9時30分頃に川合選手と交代。タイヤは換えず、車体調整のみで周回を重ねます。10時頃から硬さの異なるタイヤに交換。GT300の専有時間は吉田選手が担当します。ベストタイムは川合選手が16周目にマークした1分38秒530で、順位は14位。84kgのサクセスウェイトの影響が大きく、持ち前のスピードが発揮できない状況です。

ノックアウト予選(Q1)はAとBの2組に分かれて行われ、川合選手がA組に出場。4周目に1分38秒535をマークし、Q1突破圏内(8位)につけます。5周目に1回目のタイムを更新する1分38秒273をマークするも、ライバルの上がり幅が大きく、川合選手の順位は11位。A、B合わせた予選結果は21位となり、2戦連続のQ1敗退となりました。チームは予選後、大掛かりな車体の仕様変更を実施。決勝での上位進出を狙います。

日曜日(決勝日)の天候は断続的な雨。450kmの決勝レース中、何度もタイヤ交換を行う可能性があるため、早朝よりタイヤ交換練習を行い、本番に備えます。スタート直前に強い雨が降ったため、SC(セーフティカー)が先導し、3周目からレース開始。スタートドライバー、川合選手はレインタイヤを選択し、2つ順位を上げて19位で1周目を終了します。次第に雨は止み、路面が乾くのは時間の問題に。チームは早々にドライタイヤへの交換を決断。8周目の終わりに川合選手を呼び戻し、タイヤ交換と短い給油を行います。川合選手は25位でコースに復帰し、ライバル勢のピットインにより順位が回復していきませんが、競争力のあるペースで走ることができず、苦しい展開です。33周目にSCが入り、39周目からリスタートとなりますが、状況は変わりません。川合選手は13位走行中の46周目にピットに入り、吉田選手に交代。店舗メカニックが素早く給油とタイヤ交換を行い、吉田選手をコースへ送り出します。

コースに復帰した吉田選手の順位は20位。吉田選手は54周目に16位、57周目に14位と順位を上げていきますが、62周目、コース上にストップしたGT300車両が炎上するアクシデントが発生。すぐに赤旗が提示され、全車ホームストレート上に停車します。約50分間の中断のあと、SC先導により、レース再開。待機中にスコールのような強い雨が降ったため、全車コース上でレインタイヤに交換しています。ウェット路面での吉田選手のペースは良好で、トップ10圏内のライバルとバトルを展開。82周目の終わりには7位まで進出します。しかし、再び路面が乾きはじめ、劣勢を強いられることに。チームは85周目に吉田選手を呼び戻し、タイヤ交換を実施。店舗メカニックは大きな緊張感の中、3度のタイヤ交換をノーミスで行っています。コースに復帰した吉田選手の順位は12位。吉田選手は87周目に渾身の走りで#87ウラカンを通すと、その翌周にはランキング2位の#2GR86を最終コーナーでパス。11台抜きの10位でチェッカーを受けました。レース終了後、上位の車両にペナルティが与えられたため、正式結果は9位。貴重な2ポイントを獲得し、次戦につなげることができました。



### 決勝結果 (GT300クラス)

#52 埼玉トヨペット GB GR Supra GT  
(吉田広樹/川合孝汰)

決勝: 9位 (93周、3時間45分58秒401)  
予選: 21位 (1分38秒273)

## ■ DRIVERS VOICE



吉田広樹 選手

(予選後) なかなか厳しい状況です。一番効いているのはサクセスウェイトで、今回 84kg を積んでいます。ただ、ランキングトップのチームはぼくらより積んでいるのに Q1 を突破して、予選も 10 位ぐらいなので、もうちょっとどうにか戦える方法を考えなければいけないかなと思います。明日は天気に崩れそうな雰囲気があるので、そこでチャンスが生まれればと思います。後ろの予選順位だから選択できる思い切った作戦や、天候に合わせたタイヤ交換のタイミングを考えながら戦えればと思います。

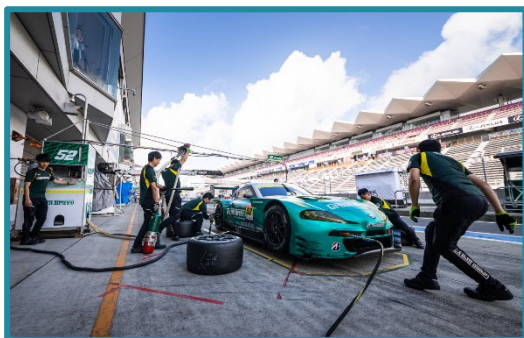
(決勝後) シーズン後半に今回の 2 ポイントがきいてくると思いますので、ポイントを獲得でき、すごくうれしいです。サクセスウェイトの影響で、ドライもレインもまわりと比べて速さはありませんでした。メカニックがイレギュラーなタイヤ交換を集中しながら何度もやってくれたので、それが 2 ポイントにつながったと思います。ドライで走った川合選手は苦しそうだったので、チームが天候や SC を活かす作戦を考えてくれたのも大きかったと思います。こういう厳しい戦いがあと 2 戦ぐらい続くと思って、やっていくしかないと思います。



川合孝汰 選手

(予選後) 公式練習中に使ったタイヤとは別のタイヤを選択して Q1 に出場しました。ミスもなく自分の中では結構まとまっていたのですが、思った以上にタイムが出ませんでした。グリップ感を含めてもうちょっと期待できるかなと思っています。Green Brave の強さはチーム力だと思いますので、すごく前向きです。明日は天候が怪しいのですが、上がっていけるとと思います。ランキングを争うクルマの前でフィニッシュし、ポイントを獲得したいと思います。

(決勝後) スタートのタイミングから天候が読めないコンディションで、赤旗の時も結構な雨になりました。ぼくらは乾かないと思っていたのですが、富士の特徴というか、路面の乾きがすごく良かったので、最終的にドライに交換しました。あのままウエットで引っ張っていても、うちは厳しかったと思います。今回はメカニックがピットで 3 回タイヤ交換をしているので、その頑張りには尽きます。雨のレースは大好きなので、できればもっと降ってほしかったというのが正直なところですが、SUPER GT で雨の経験はあまりないので、今後に向けていろいろなデータもとれたと思います。



### GT300 クラス決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1 位	:GAINER TANAX GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	93 周
2 位	:Studie BMW M4(BMW M4 GT3)	93 周
3 位	:DOBOT Audi R8 LMS(アウディ R8)	93 周
4 位	:リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	93 周
5 位	:apr LC500h GT(レクサス LC)	93 周
6 位	:SUBARU BRZ R&D SPORT(スバル BRZ GT300)	93 周
9 位	:埼玉トヨペット GB GR Supra GT(トヨタ GR Supra)	93 周

天候:雨 路面:ウエット ※トップ 6 まで(出走 27 台)

### GT300 クラス チームランキング

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1 位	7	BMW M Team Studie×CRS	51
2 位	56	KONDO RACING	49
3 位	52	埼玉トヨペット Green Brave	42
4 位	2	muta Racing INGING	41
5 位	11	GAINER	34
6 位	65	K2 R&D LEON RACING	33

トップ 6 まで

【次戦予告】 第 5 戦 8 月 26 日 (土) ~8 月 27 日 (日) 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

## ■ PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社カロッツェリアジャパン



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社西武ライオンズ



株式会社セーフティライフ



大和ラチエーター工業株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



株式会社ドーム



株式会社日本ビューテック



株式会社プロモーション



Mechanix Wear LLC

※50 音順